

第 168 回臨時国会 衆議院予算委員会（平成 19 年 10 月 11 日）

福田総理大臣答弁（対：糸川正晃議員（国民））

○糸川委員（中略）

そこで、総理に、この地デジの問題については最後にしたいと思いますが、現在のアナログ放送が受信可能な世帯、こういうすべての世帯において完全デジタル化に移行する以降、テレビが見られるように万全な対策をしっかりと講じられるんだということ、それから、2011 年 7 月 24 日をもってアナログ放送を総理主導のもとしっかりと終了していただいて完全デジタルに切りかえるのかどうか、そういう決意もぜひお聞かせいただきたいと思います。

- 福田内閣総理大臣 テレビは今や娯楽とかそれだけでなく、情報伝達機関なんですよね。特に災害の連絡とか通知、そういうものに積極的に活用されているわけですから、これはもう日本国民全部に伝わらなければいけない、そういう現代的な情報武器になっているんですね。

そのことを考えますと、やはりデジタルに切りかえるということによってその恩恵に浴せない人が出てくるというのは避けなければいけませんね、そういうことは。ですから、そのことはどうしても我々としては一番頭を中心に置いておかなければいけない、こう思います。

そして、今、2011 年ということやっておりますので、それについて、それを実現できるような体制をつくっていかなければいけないというように思います。これは、今、総務省を中心にして検討しておりますけれども、我々としては、今のところはそういう計画を持っているわけですから、そのことを実現するべく全力を挙げていきたいと思います。